

茶道グループ

表千家




コミュニティ
くしがはま



第39号
昭和60年5月25日発行
榎浜地区コミュニティ推進協議会 広報部

記事と情報は下記へ
☎ 25-2002

現在十名下お稽古をしております茶道教室です。

私達の日常の生活にはあまり縁がない様に思われますが、お辞儀一つでも大変役立てております。このジャンルは今のところ若い方が多いですが、人生経験豊富な先輩の中心となつてお茶を愛する方々の中でお茶だけを中意な色なお勉強もさせてもらっています。忙しい暮らの中、お茶に求められている「閑」これが茶道で学べるのではないかと、どうか多くの方に入門下さる事をお待ちします。

◆ 毎週一回火曜日

◆ 七時〜三時

◆ 会費、一〇〇〇円



コミュニティ推進協議会総会(5月/2日)



◆事業

- 一、コミュニティ発足五周年 事業の推進
 - 春・講演会(五・十二実施)
 - ・山上り
 - 夏・納涼大会
 - ・掘川いかだのり
 - 秋・地区大運動会
 - ・コミュニティ文化祭
 - ・ウォークラリー
 - 冬・新成人の集い
 - ・史跡めぐり
 - ・講演会
 - その他
 - ・郷土史「くしがはまものがたり」の発刊
 - ・漁具・民具の蒐集・保管
- 二、コミュニティ計画にもとづく部活動の推進
- 三、広報「コミュニティくしがはま」の発刊配布
- 四、会員増募

コミュニティ発足五周年記念講演会

☆演題 「コミュニティと青少年活動」

講演をきいて

大人は自分で自分が、そんなに立派な人間ではないことを、十分知っています。しかし、子どもに向かうと、その気持ちを忘れてしまふのかもしれない。

先生は「大人に青少年は解らない。解るふりをして認めた上で、かわりを持つこと。子どもの気持ちに共感し、叱るべきはしかり、正すべきは正す。その場合もそんなに立派でない人間が言っているのだという、恥らいを持っていて欲しい。そうすれば子どもには解るものだ」とおっしゃいました。

では具体的にどうすればよいかは、一人ひとりが考えてゆかねばならないことです。

大踏 清水悦子

六十年度の抱負



長寿会

戦後、靴下と人間の寿命が長持ちするようになったと申します。日本が世界一の長寿国となった事を新聞紙上で見ます。誠に喜ばしい事でありませう。

私達は残された人生をより健康で明るく過ごすよう講演会や、ふれあいの場に出席して、各種団体と協力し、今迄積み重ねた能力と経験を生かしたいと思えます。

又、会員相互の親睦を図るために、毎月太華荘で月例会を行ない昔話しに花を咲かせています。それと、身体の老化を防ぐために、毎日6号グラウンドでゲートボールを行なっていますので、一人でも多くの方の参加を待っています。

会長 野村 栄

おめでとうございます

日本消防協会会長より
永年勤続章を授与された

西磯町 長浜 議殿

大工町 原田 照明殿



ありがとうございます

・児童図書八十冊

東浦町 春美容院殿

・児童図書八冊

中磯町 田中愛子殿

・かいづかいぶき剪定

栗南三 神原茂夫殿

・切花多数

小踏 井上陣之助殿

・委員の多い自治会

(世帯数の五割以上)

栗南自治会殿

荒神自治会殿

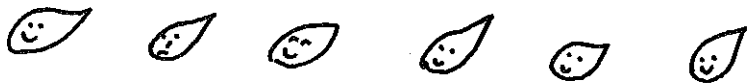
奈切自治会殿

・センター開館以来

継続して新聞を寄贈

読売販売店 松岡 秀雄殿

毎日販売店 兼広須磨生殿



ミニバスケット思い出の文集

六年生最後の試合

浅田 裕子

朝、五時三十分に目がさめました。でもあまりにも早すぎたのでまたコタツでねました。五年のころはこうではなかったのに、六年になると、試合の日はいつもとても早く起きてしまう。とてもきんちようするからだ。

特にあの日は六年生最後の試合なので、勝ちたい気持ちでいっぱいだった。

一回目、すすまとやった。このチームに一回負けている。だから勝ちたいと思い必しでやった。十五対十で勝ちました。

二回目、これがほんとうに最後だと思った。相手はすくもだったすくもには五年生もメンバーにいわえました。でも私は少しさんねんだ。それは最後だから六年生だけでやってみたかったからだ。でも五年生の試合は見ていてもとても楽しかった。けっきょく五十対八で勝った。これは、この一年間で一番の最高点だった。私はこれからもバスケットをやっていきたいと思えます。



思い出

橋本 典子

三月三日久米小学校での徳山市ミニバスケット交歓会の試合が六年生最後の試合でした。私は力一杯精一杯がんばって、くいのない試合をしようと思いました。

第一試合で須々万としました。みんなもう夢中で勝つことだけを考え、みんなが力を合わせがんばった結果十五対十で勝ちました。一度敗れたことがあるチームなので勝つことができてとてもうれしかったです。

第二試合も十五対八ですくも島に勝って試合中みんなメラメラに燃えていました。

みんな自分で自分の胸に誓ったことを一つ一つ思い出して、いっしょうけんめい監督やコーチの方たちに注意されたり、おそわったことを一つ一つ思い出して私たちは、試合をしました。

今まで練習してきたことがいろいろ思い出されました。監督に注意されたこと、試合に敗れてくやくて泣いたこと、勝ってみんな抱き合って喜んだこと、いろいろ思い出されました。遅くまで練習して腹がすいて動けなくなったり、夏、暑くてのがが濁ってヘトヘトになったり、冬、寒くて手がカチカチになってしもやけになったり、速いボールが取れなくてしかられたり、練習は厳しくて苦しいこともあったけれど楽しいこともたくさんありました。

六年生の初めは、弱くてなかなか試合に勝てなくてくやくしかったけれど、監督、コーチの方たちのおかげで五連勝が出来るように強くなりました。

私は、中学生になってもバスケットに入ってがんばろうと思っています。



バスケットの三年間
五十六年度の四月に入部した。入った時は、とてもえらく、きん肉痛などになった。四年生では、基本のことしかやらなかった。五年生では、六年生の方が少ないので試合に出れた！あまりしんけんではなかったので楽しいなという気持ちが多いかった。六年生では河村さん中心に試合を進めていった。最後は、負けてばかりでとてもくやくしかったです。でも私も、だんだん試合になれてきて、時々勝ちました。勝ちだすと試合けい式の練習が増えました。ちようしが出てきて十二月二十七日の試合の前の練習日にのどがいたくて、へんとうせんになつて日曜日の試合はできませんでした。見ているだけだとても残念でした。二月に優勝した時からぐんぐん力がついて今年(六十年)は一度も負けませんでした。バスケットに入っ良かったことは、ちよつと足が速くなったことです！

堀田 由美

明るい明るい (のんちゃん)

河村 紀江

私たちにとって、三月三日がいこのしあいだった。このあいだ負けたチーム須々万と戦った。でも今回は十五対十で勝ちました。あまりとく点がひらかなかつたので最後の試合だったけれどあまりいい思い出はならなかった。

昼食は全チームが顔を合わせて食べた。昼食の時は何か一つチームで歌か劇をやらなければならなかった。私たちは一番初めだったのできんちようして声がでなかつた。(あとでかんとくや、コーチにおこられた。)

最後の試合はすくも鳥とやり、五十五対八の大差で勝った。すくも鳥とは最後の試合だったので、大差で勝てうれしかったです。かんとくさんや、コーチさん、三年間どーもありがとうございました。中学校へ行ってからもヨロシクおねがいします。

試合

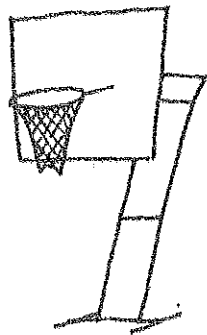
村上 晶子

三月三日は、私たちにとって最後の試合でした。最後の試合には、この前負けた須々万とすくも鳥だったので絶対勝ちたかった。

一試合目は須々万で負けるのではなかるうかと心配ばかりしていた。朝早かったので私たちは動きがにぶかったが、まだ須々万の方がにぶく第一クォーターはあつというまに終わりました。点もあまりはいらずともえらく私はすごくいらだっていた。でも三クォーターが、がんばってくれたのでやつのことで勝てました。

二試合目のすくも鳥とは、すごく楽で、点がすごく入り、五年生をだしてもまだ点差が開いて、ほんとに楽しい試合でした。

結果は五十五対八で初めての五十点以上でした。二つの試合とも最後の試合として、とてもよい試合だったような感じがします。



TOバスケット様

三月三日の試合 中山 啓子

三月三日は私達にとって最後の試合だった。私はどきどきして朝早くから起きていた。久米小に行き須々万と試合をした。須々万は一回やって負けたところでした。でも今回は勝ちました。十五対十で勝ってよかったです。

昼食に入り一チーム何か一つ(歌、劇)をやらなければならなかったので私達は歌「ロマンチックが止まらない」を歌いました。みんなきんちようして声が小さかったです。昼食が済んで私達にとって本当の最後の試合がありました。すくも鳥としました。始めはあまりリシュートが入らなく、と中からちようしをとりのどしどんだん点が入っていききました。五十五対八で勝ちました。最後の試合でこんなに点が入ったのでとてもうれしかったです。三月三日で練習は終わりました。三月三日で練習は終わりました。練習を繰り返すのでその時はヨロシクおねがいします。それから二年間だったけど、とてもおもしろかったです。では。



最後の試合

米田 早苗

三月三日(耳の日)の試合が最後だった。

一試合目はあまり良い成績ではなかった。昼食は、全部のチームが円になって一チームずつ真中で歌、劇、他いろいろやるのだ。横浜チームは、一番最初で歌を歌ったが、大きな声では歌えませんでした。

二試合目は午後からで「四十点以上とれなかつたら、おもしろいからやらない」と監督と約束しました。二試合めは、四十点以上(五十五対八)で勝ちました。最後の最後で、いままでの点より一番いい点をとれてとてもうれしかったです。

?作文がへたなもので、しーませーん!

三年間のミニバスケット

山本 晶子

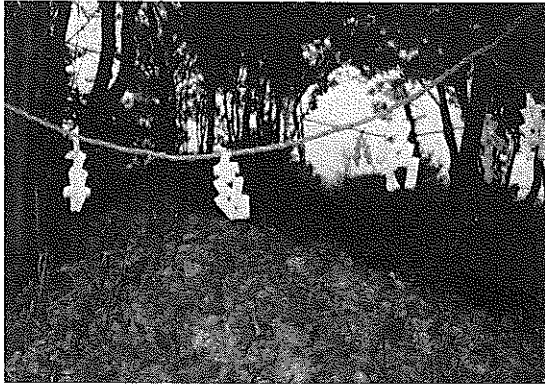
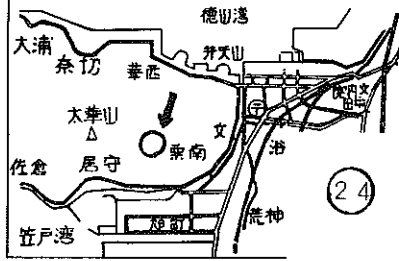
三年生の終わりミニバスケットに入った。最初は練習がいやで休みたいと思った。そして次々に人がやめていくのを見て私もやめたいと思った時もある。でも入ったからには続けて行きたいと思いやめなかつた。そのため足も速くなり、バスも強くなったり、いろいろと力がついた。今ではバスケットに入りやめなくてよかったと思う。

試合ではあまり出られなかつたけど、みんなが、がんばってくれていろいろ試合でも勝ってこられた。この三年間バスケットに入っ

て本当によかつたと思う。中学校でもバスケットクラブに入り、今まで以上にがんばり練習も休んだり、バスケットをやめたいしないで、小学校の時よりもいブレイなどをし、がんばりたいです。

訪ねて
みませんか

さいの神



「さいの神」とは、邪霊の侵入を防ぎ、道行く人を災難から守る神で、従って村境・峠・森等に祭られている塞の神又は道祖神とも云い書く。

「さいの神」にもその形式がある。樹木や森型・堆石型・祠型・石碑型に大別できる。

本稿「さいの神」は、榑浜小学校裏山の保全林の「探索の森」付近にある。(坂田地区より尾根伝いに太華山に登る途中)

この「さいの神」は、堆石型で自然石の小さなものを人々を通る度に積み重ね、通行の安全を祈願したものでしょう。

日常のたきぎ取り、山林の手入れ或いは早魃の折り太華山山頂においての雨乞い祈願の際尾根伝いに登った道と考えられる。

一昨年より郷土史研究会員で、十二月の末日頃、老人

会の好意による注連縄に紙幣をして年間の御礼と来る年の祈願をしています。

(郷土史研究会)

5/12
スポ少親睦野球秋月大会
(6年生)
1回戦 不戦勝
2回戦 榑浜 / : 6 徳山中央
練習不足か、残念・・・

5/12
スポ少親睦剣道菊川創立
10周年記念大会
男子 2回戦で惜敗
女子 3回戦で惜敗
いまからもがんばってね。

5/12
第7回市スポ少バレー交歓会
Aチーム(6年) 準優勝(参加4チーム)
Bチーム(5年) 3位(参加5チーム)

5/6
第46回市スポ少野球大会
(6年生)
1回戦 榑浜4A : 3 秋月
2回戦 榑浜 / : 2 遠石
両試合とも、よく戦いました。1回戦はサヨナラホーム(浅田君)で・・・

5・12 周南サッカーリーグOD大会

予選リーグ
4年 榑浜 / : 0 豊保井
榑浜 / : 0 久保井
決勝リーグ
榑浜 / : 4 新南陽
榑浜 2 : 1 秋月
※4年生として初の試合、コチコチにアガッて地に足がつかない?しかし伝統の強さか! 2位に食いこむ。応援の母集団!さすがにバテました。

4/29 周南サッカーリーグAB大会

予選リーグ
6年 榑浜 / : 1 新南陽
榑浜 2 : 0 岐山
5年 榑浜 2 : 0 新南陽
榑浜 7 : 0 岐山
決勝リーグ
6年 榑浜 0 : 0 徳山
5年 榑浜 0 : 0 徳山
2位 榑浜
優勝 榑浜 3 : 0 徳山
保山 保山 山 山



6号の草刈り奉仕
良い天気続きの連休明けの五月七日、私達草刈りグループ七名は6号グラウンド周辺の草刈り奉仕をしました。あいにくの小雨、大降りにならなければよいがと空を仰ぎながら、一斉にエンジンスタート。途中一服することもなく刈払機は、水煙をあげながら、うなりっぱなし雨合羽が少々邪魔だが丁度暑くなくて好い塩梅だ。昼食も合羽を着たまま久しぶり。私達グループもお陰様で餅の数は年々多くなりましたが、お互いに体に気をつけて、これからも元気で頑張りたいと思います。最後に、皆さん6号にゴミを捨てない様にしましょうね。

